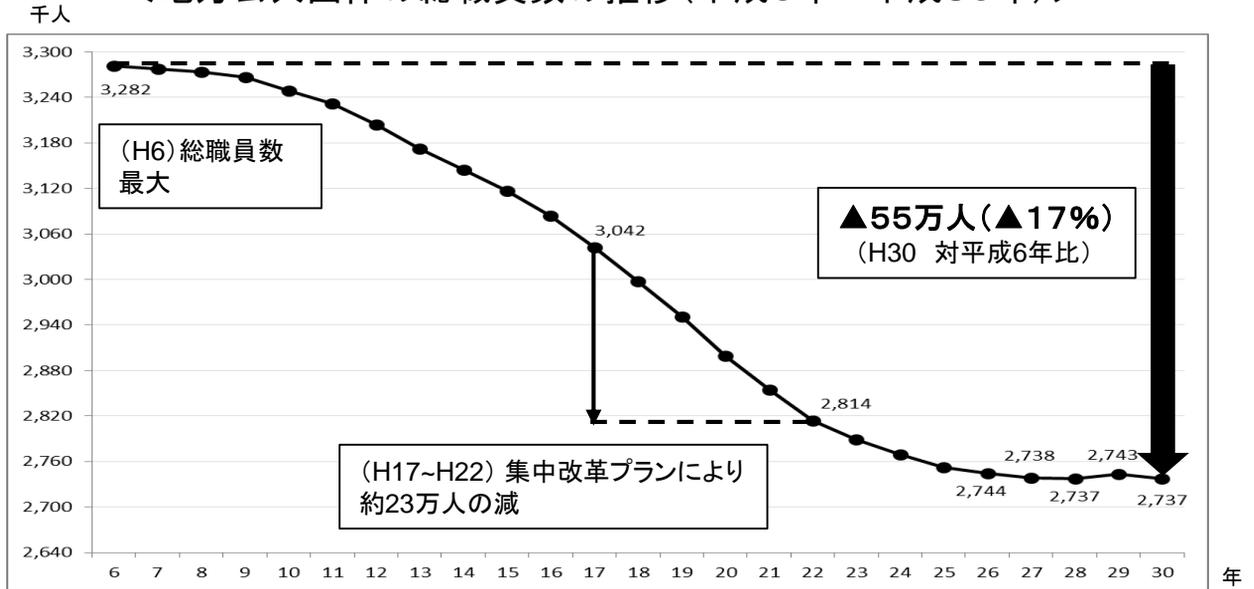


平成30年地方公共団体定員管理調査結果のポイント

(平成30年4月1日現在)

○ 総職員数は、対前年比で約6千人減少し、約274万人。平成6年をピークとして対平成6年比で約55万人減少。

＜地方公共団体の総職員数の推移(平成6年～平成30年)＞



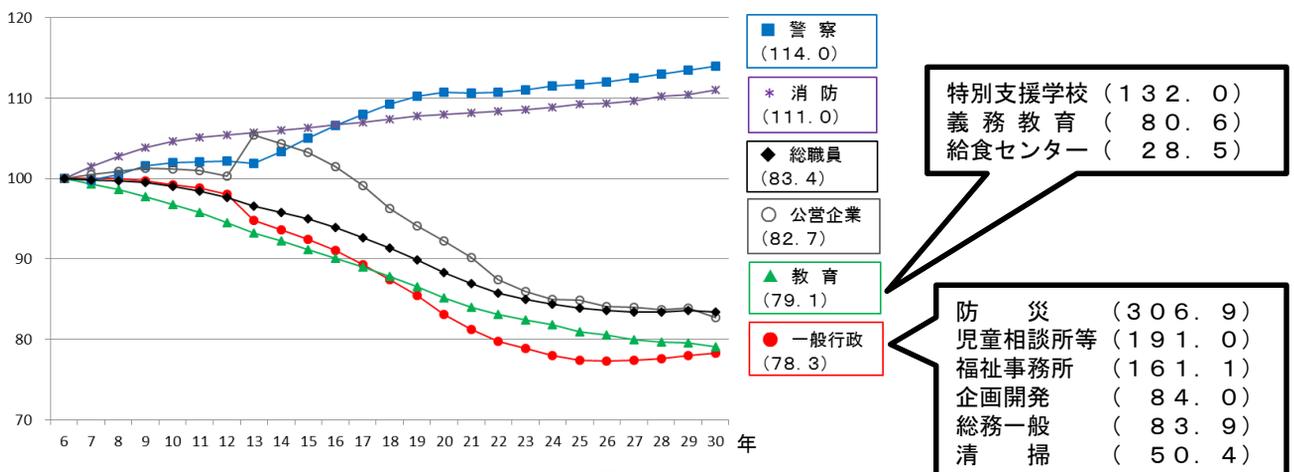
○ 部門別に見ると、対前年比で一般行政部門、警察・消防部門で増加する中、教育部門、公営企業等会計部門で減少。一般行政部門においては、対平成6年比で▲22%と減少している中、防災は約3.1倍、児童相談所等は約1.9倍、福祉事務所は約1.6倍に増加。

＜対前年の部門別職員数の状況＞

(単位：人、%)

		部門				合計
		一般行政部門	教育部門	警察・消防部門	公営企業等会計部門	
対前年	増減数	3,370	▲ 6,150	2,236	▲ 5,192	▲ 5,736
	増減率	0.4	▲ 0.6	0.5	▲ 1.4	▲ 0.2

＜平成6年からの部門別職員数の推移(平成6年を100とした場合の指数)＞



※平成13年に生じている一般行政部門と公営企業等会計部門の変動は、調査区分の変更によるもの。